

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2018年2月15日木曜日 22:32
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年2月15日発行
添付ファイル: ●寄贈本リストと余号.xlsx

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年2月15日発行

【シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回の参加申し込み】

詳細は、<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

を御参照下さい。

多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

10:00～または10:30～開催の名古屋テレビ塔見学会に参加をご希望の方は、できれば早めに参加のお申し込みをお願い致します。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】会員の皆様のお手持ちの中部産遺研の書籍の寄贈のお願い／事務局【New】

【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【参加申し込み受付中】

【4】第151回定例研究会／見学会のご案内【参加申し込み受付中】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 2018/3/3（土）10:00～（見学会） 13:00～（シンポ）
会場：栄ガスビル
- 第151回定例研究会／見学会 2018/3/4（日）松阪市の丹生鉱山と立梅用水（10:00 松阪駅集合）
参加費 3000円（バス代・保険代・手土産代を含む）
- 第26回総会・第152回定例研究会 2018/05/19（土）予定 13:00～17:00 名城大学校友会館会議室
- 産業考古学会 2018年度総会 2018/05/25-27 栃木県足尾で予定

【2】会員の皆様のお手持ちの中部産遺研の書籍の寄贈のお願い／事務局【New】

愛知県図書館、名古屋市鶴舞中央図書館から

「産業遺産研究」

「シンポジウム『日本の技術史をみる眼』講演報告資料集」

「シンポジウム『中部の電力のあゆみ』講演報告資料集

につきまして、市民の関心が高く、両図書館において一部欠品もあるということから、追加で納入したいと思います。

鶴舞中央図書館では、一部に欠本があり、その分を納入して欲しいとの依頼があります。愛知県図書館からは、巻号を問わず、あるものを1部ずつ納入して欲しいということです。

しかしながら、現在、中部産遺研においては既にほとんどの巻号の在庫がありません。

そこで、会員の皆様の中で可能な方は上記の書籍を研究会に寄贈頂けますようお願い致します。もしも寄贈頂ける方がおいでしたら、添付のExcelのファイルに記入して、大橋事務局長宛にExcelファイルを電子メールに添付してお送り下さい。事務局の方でお送り頂いた内容を確認させていただきます。

大橋事務局長メールアドレス
ohashi05@ai.wakwak.com

どうぞよろしく願いいたします。

【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【参加申し込み受付中】

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回を次の通り開催致します。

参加申し込みの受付を開始しました。会員の皆様、会員外の皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

にございます。

また、参加申し込みフォームへのリンクも上記ホームページにございます。

テーマ 「名古屋テレビ塔の新たな旅立ち —ランドマークとしてのこれまでとこれから—」

名古屋テレビ塔は、昭和28(1953)年9月から着工され、翌29(1954)年6月竣工開業した日本初の集約電波塔です。戦後復興のシンボルでもあるこの塔は、名古屋中心部のランドマークとして欠かせないものになり、市民の多くに親しまれています。この設計者の内藤多仲博士は、耐震構造の父と称され、大正期の関東大震災にも耐えた歌舞伎座や、戦後の東京タワーも含めて生涯に60以上の塔を構造設計し、塔博士とも称されます。名古屋テレビ塔は平成23年7月24日には「テレビ塔」としての役割を終えましたが、国の登録有形文化財にも登録されており、価値の高い存在です。そのため、新しい耐震基準に適合させる改修免震工事が計画されています。その準備の中で多数の資料が再認識されました。

今回、この資料調査を通して、内藤多仲博士の足跡を含め、私たちは名古屋テレビ塔の記録継承すべき歴史について認識を深めたいと思います。

そして、今後の修復や保存、さらに活用の仕方などを、参加者のみなさんと共に考えましょう

日時 2018年3月3日 土曜日 13:05~16:45

会場 栄・ガスビル 5階キングルーム(定員132名)

参加費 資料代+会場費 会員・学生・後援団体関係者1,000円、一般1,500円

見学会 シンポジウム当日の午前中にテレビ塔の見学会を実施。申し込み多数の場合は抽選。

定員40名(第1班:10:00~ 20名、第2班:10:30~ 20名)

見学会参加費:500円(見学会参加費のみ現地にて参加費を集めます)

懇親会 17:30~19:00 参加費:5000円

場所:栄ガスビル 地下1階「しら河」

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

を御参照下さい。

寄贈本と余号 リスト

研究会誌 発行価格(円) 余号

第1巻	産業遺産研究	1994	1000		
第2巻	産業遺産研究	1995	1000		
第3巻	産業遺産研究	1996	1000		
第4巻	産業遺産研究	1997	1000		
第5巻	産業遺産研究	1998	1500		
第6巻	産業遺産研究	1999	1000		
第7巻	産業遺産研究	2000	1500		
第8巻	産業遺産研究	2001	1500		
第9巻	産業遺産研究	2002	2000		
第10巻	産業遺産研究	2003	1500		
第11巻	産業遺産研究	2004	1500		
第12巻	産業遺産研究	2005	1500		
第13巻	産業遺産研究	2006	1500		
第14巻	産業遺産研究	2007	1500		
第15巻	産業遺産研究	2008	1500		
第16巻	産業遺産研究	2009	1500		
第17巻	産業遺産研究	2010	1500		
第18巻	産業遺産研究	2011	1500		
第19巻	産業遺産研究	2012	2000		
第20巻	産業遺産研究	2013	2000		
第21巻	産業遺産研究	2014	1500		
第22巻	産業遺産研究	2015	1500		
第23巻	産業遺産研究	2016	1500		
第24巻	産業遺産研究	2017	1500		

※愛知県図書館: 余号があれば欲しい。

寄贈: 中部産業遺産研究会
2018.2.

シンポジウム 発行: 価格(円)

○杉本

				欠号	余号
日本の技術史を見る眼 報告集第4回	1985				
日本の技術史を見る眼 報告集第5回	1986			天	
日本の技術史を見る眼 報告集第6回	1987	鶴			
日本の技術史を見る眼 報告集第7回	1988				
日本の技術史を見る眼 報告集第8回	1989				
日本の技術史を見る眼 報告集第9回	1990				
日本の技術史を見る眼 報告集第10回	1991				
日本の技術史を見る眼 報告集第11回	1992	鶴・県		○	
日本の技術史を見る眼 報告集第12回	1993			天	
日本の技術史を見る眼 報告集第13回	1994				
日本の技術史を見る眼 報告集第14回	1995			天	
日本の技術史を見る眼 報告集第15回	1996				
日本の技術史を見る眼 報告集第16回	1997	鶴・県			
日本の技術史を見る眼 報告集第17回	1998	県		天	
日本の技術史を見る眼 報告集第18回	1999	県		○	
日本の技術史を見る眼 報告集第19回	2000	県		○	
日本の技術史を見る眼 報告集第20回	2001	県		○	
日本の技術史を見る眼 報告集第21回	2002	鶴追加		○	
日本の技術史を見る眼 報告集第22回	2003			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第23回	2004			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第24回	2005			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第25回	2006			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第26回	2007	鶴追加		○	
日本の技術史を見る眼 報告集第27回	2008			天	
日本の技術史を見る眼 報告集第28回	2009			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第29回	2010			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第30回	2011				
日本の技術史を見る眼 報告集第31回	2012			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第32回	2013			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第33回	2014			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第34回	2015			○	
日本の技術史を見る眼 報告集第35回	2016				
日本の技術史を見る眼 報告集第36回	2017	鶴・県			

シンポジウム: 講演会報告資料集
欠号

中部の電力のあゆみ 講演報告第1回	1993			浅	
中部の電力のあゆみ 講演報告第2回	1994				
中部の電力のあゆみ 講演報告第3回	1995			浅	
中部の電力のあゆみ 講演報告第4回	1996			浅	
中部の電力のあゆみ 講演報告第5回	1997			浅	
中部の電力のあゆみ 講演報告第6回	1998				
中部の電力のあゆみ 講演報告第7回	1999				天
中部の電力のあゆみ 講演報告第8回	2000			浅	天
中部の電力のあゆみ 講演報告第9回	2001			浅	天
中部の電力のあゆみ 講演報告第10回	2002			浅	天
中部の電力のあゆみ 講演報告第11回	2003				
中部の電力のあゆみ 講演報告第12回	2004				
中部の電力のあゆみ 講演報告第13回	2005			浅	天